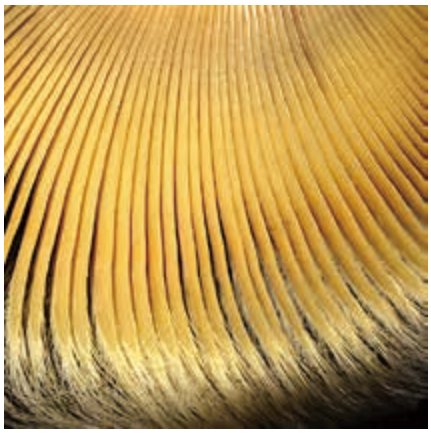
知床博物館ニュースレター No. 322

タンネウシ

10月号

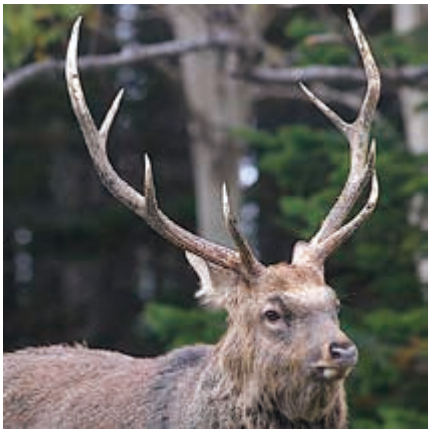
タンネウシはアイヌ語で「長い・木の・群生しているところ」。博物館付近の地名です

ロビー展「ちょっとだけクジラ展」



博物館の収蔵庫に眠っているクジラのひげや骨をちょっとだけ展示します。ちょっとといっても、根室で先月採集されたセミクジラのヒゲは長さ2mでなかなかの迫力です!▶期間：9月29日（土）～10月31日（水）▶会場：交流記念館ホール▶観覧無料

自然観察会「秋の知床」



静かな秋の知床をバスで訪れ、自然を観察します。知床五湖などで動物たちや痕跡を探しましょう。何が出てくるかは皆さんの運次第です!▶日時：10月27日（土）9:00～15:00（悪天中止）▶集合・解散：交流記念館▶定員：15名、要申込み▶参加費：一般200円、協力会員無料▶持ち物：昼食、のみもの、カッパ、防寒具、帽子、手袋▶担当：村上館長

開館40周年記念特別展　「丘に眠るオホーツク文化」

北海道にアイヌ文化が成立する以前、知床にはオホーツク文化という独特な文化を持った人々が暮らしていました。クジラやアザラシ、魚などを捕まえて、海を舞台として生活していた人々ですが、北海道ではある時期を境に突然姿を消してしまいます。オホーツク文化終末期の集落であるウトロのチャシコツ岬上遺跡（カメ岩）の内容とオホーツク人のその後の行方について紹介します。▶期間：11月20日（火）～翌年1月20日（日）▶会場：交流記念館ホール▶観覧無料

主な展示物▷発掘されたオホーツク人の道具▷国内最北の発見である神功開寶▷ヒグマやフクロウを象ったミニチュア▷オホーツク人の暮らしをアニメーションで再現▷1/200サイズのジオラマを使ったプロジェクションマッピング▷森や空から遺跡を探検できるVR体験▷アザラシ毛皮のコートを着て親子で記念撮影▷汚れない発掘体験も用意!▷初日と毎週日曜は先着10名にオリジナルマスキングテーププレゼント!▷販売物情報：オリジナル缶バッジ、こども向け冊子「丘に眠るオホーツク文化」

草取りボランティア

毎月10日の早朝、野外観察園内の高山植物園で協力会会員による草取りのボランティア作業を実施しています。▶10月10日（水）6:00～7:00▶野外観察園集合▶雨天中止

退任のごあいさつ

8月31日をもちまして退職することとなりました。博物館在職中は大変お世話になりました。ブラタモリに出演したことで、自分の専門である地質や岩石に興味をもってくれた方が一人でも増えていてくれたら嬉しいです。長い間ありがとうございました。（合地信生）

休館日　10月の休館日は1、15、22、29日の月曜日、9日の火曜日です。

編集後記　胆振東部地震による停電、当館では全冷凍庫の稼働停止により一部の資料が損傷したのが唯一の被害となりました。（内田）